

1 パブリックコメント制度に基づき提出された意見

「平成28年度改訂 土別市小中学校適正配置計画」(案)について、「土別市パブリックコメント制度実施要綱」にもとづき意見を募集したところ、7名の方からご意見をいただきました。

寄せられたご意見の内容とこれらのご意見に対する教育委員会(行政)としての考え方を次のとおり公表します。

① パブリックコメントの実施状況

- (1) 募集期間 平成28年10月21日(金)～11月21日(月)
- (2) 意見提出者数 7名
- (3) 提出方法 持参5件、FAX1件、メール1件
- (4) 担当部署 教育委員会学校教育課

No.	寄せられた意見	市の考え方
1	<p>踏切に横断歩道や信号を。 踏切の横の道路も危ないから対策を(今は信号がない)。 子どもが事故にあわないように対策してほしい。 踏切の所は朝など通勤する車で混む。 子どもが安全に通学できるようにしてほしい。</p>	<p>踏切付近の信号機、横断歩道の設置については、信号機と踏切との距離が短くなることの影響や、横断歩道については、踏切の西側に現在2か所ある横断歩道との兼ね合いを見ながら、場所及び数について、子どもたちが安全に通学できるよう対策を講じていきます。</p>
2	<p>私は1歳の娘がいます。現在、西小区域に来年から住もうと考えています。 娘が就学したことを考えると、小学校までの距離が長いこと、学校までの道が線路を越えなければならない、道が狭いうえ、3、4叉になっているので、危険だと感じました。できれば行き帰りに1～2本程のスクールバスが出ればと思います。</p> <p>また、線路については、常時緑のおばさんがいるわけではないので、信号をつける等、工夫していただきたいです。</p>	<p>今後、スクールバスの運行について、地域又は保護者の皆さまと協議を進めます。 運行時間や経路等について、ご意見をいただきながら、効果的なスクールバスの運行について検討します。</p> <p>ご意見1の回答を参照ください。</p>

	<p>将来的に共働きとなった際、児童センターを利用したいと考えているので、西児童センターがなくなるのかも気になります。</p>	<p>西児童センターについては、西小の閉校に合わせて、児童センターとしての機能は廃止します。</p> <p>各々の小学校区域の児童館をご利用願いますが、土別小学校区域においては、新たに開設を予定している北地区子どもセンター（仮称）をご利用ください。</p>
3	<p>西エリアから南小まで通学する際、976号線から踏切を渡る所が危険だと思います。踏切の幅が狭く、冬期は雪でもっと狭くなります。</p> <p>976号線は3つ叉の道路になっており、子どもが横断するにはとても危険だと思います。信号機もなく、誰が優先して横断したらいいのか、子どもにはわかりにくいです。横断歩道や信号機の設置、狭い道路にガードレールをつける、通学の時間帯に緑のおばさんにいてもらう、スクールバスの使用など考えていただきたいです。</p> <p>また、スクールバスは学童（保育）への送迎もあるのか検討してほしいです。</p> <p>西小の廃校により、西児童センターも運営をやめることはありますか？ 共働きの家庭のためにも、下校後の学童への配慮もしていただきたいです。</p> <p>西小は廃校になったあと、どういう形で残りますか？ そのまま廃墟となるのか、取り壊すのか、今回耐震面で問題があるとのことなので、校舎の活用ができないのであれば、取り壊した方が景観はよくなると思います。廃墟は不気味です。</p>	<p>ご意見1の回答を参照ください。</p> <p>交通安全登下校専任指導員（緑のおばさん）については、現在も通学時間帯に立哨を行っています。</p> <p>ガードレールについては、道路形状により設置が可能なのか、またその有効性を含めて調査を行っていきます。</p> <p>スクールバスによる学童（保育）への送迎は想定していません。</p> <p>ご意見2の回答を参照ください。</p> <p>西小廃校後の校舎等の利活用、解体については、耐震面も含め、今年度策定を予定している「公共施設マネジメント基本計画」に基づき検討を進めます。なお、検討に基づく具体的な取り組みについては、平成30年度からの「次期総合計画」において実施する予定です。</p>

	<p>また、保護者会への参加を未就学児の親も参加させてほしいです。</p> <p>今、1歳の子どもがおり、西エリアから南小へ通うこととなります。自分の子どもの話なのに、情報が得られず困っています。</p> <p>以前、土別市教育委員会へ保護者会などの場へ参加したいと電話しましたが、現在西エリアに住んでいる人しか参加できないと言われました。(私は来年から西エリアに住みます)これから西エリアに引越す予定で子どものいる親はどこで情報を得て、意見をいえば良いですか。</p>	<p>今後の説明会につきましては自由に参加できるようにいたします。</p> <p>あわせて、これまで保護者の方には案内文で、地域の皆さまには回覧板を通じて、開催のご案内をしておりましたが、次回からは市ホームページでもお知らせをいたします。</p>
4	<p>孫が通うことになるので、線路の踏切が危ないと思う。信号などをつけてほしい。</p> <p>子どもたちが安全に通学してほしい。</p>	<p>ご意見1の回答を参照ください。</p>
5	<p>多寄中学校の今後について</p> <p>現在、生徒数19名在学しているものの、H32年度には13名で複式学級となります。更にH33年度9名、H34年度6名と、2学級以下、全校生徒が10名以下となるため、教職員数が激減すること、部活動や学校行事等、すべての活動に制限が強いられてしまう。</p> <p>小規模校ならではのメリットはもちろんあるが、子どもたちの限りない可能性を、そして沢山のチャンスを導くためにも、統廃合(土中へ)を検討していかなければと考える。</p> <p>小・中の保護者の方々と今後について話し合い、意見交換会も行っていて、大半の保護者の方は統合を希望しているところです。</p> <p>色々な問題が発生することも踏まえて、話し合いは重ねていく予定でいます。</p>	<p>中学校の適正配置については、2学級以下で全校生徒数が10人以下は、原則として学校の統廃合を進める規模としています。</p> <p>本計画の策定時(平成23年)においては、30年度以降も10人以上の生徒数を見込んでいましたが、人口減少が加速していることもあり、現在はご意見のとおり生徒数の見込みとなっています。</p> <p>一方で、多寄中学校については、特認校としての役割を担っていることから、今後新たな生徒数見込みをベースに地域、保護者の皆さまからご意見を頂くとともに、市全体の中学校の配置状況も視野に入れながら、第2期計画期間における多寄中学校のあり方について検討を進めます。</p>

6	<p>最近、多寄中学校・小学校の父母、PTA、教員等で集まり、多寄の今後の学校のことについて話をした。</p> <p>H33年の多寄中学校の生徒数が9名と少なく、自分としては、土別中学校と統合したほうがいいんじゃないかと思っている。</p> <p>今現在でも、生徒数が少なく、クラブや体育の授業等の団体でやることができなく、集団行動力なども身につかないと思うし、複式学級とかになったとしてもどうかと思うし、それが子供のためになっているのか？</p>	<p>ご意見5の回答を参照ください。</p>
7	<p>前回の計画書策定後、何も情報が無く、突然廃校の連絡が来たが、その間の空白の3年間についてどこで何が話し合われたのか不明確。温根別中学校の閉校、上土別小中学校の着工を待っての廃校提案と考えるが、そうであれば児童、保護者、地域住民軽視と考えられると思うが、(計画書(案)1ページ赤文字部分)</p> <p>提言書作成のメンバー構成について、当該学校の地区住民が一人もいないことや、前回の提言書とまるで反対の提案がされていることを考えると、反対意見が出ない様な教育委員会関係メンバーで構成にしていたのではないかと考えるが、メンバー構成については適切であったと考えているのか。</p> <p>(計画書(案)1ページ赤文字部分)</p> <p>市で策定している「児童の権利条例」との関係上、子供達に対しても意見表明の機会を与えるべきだと考えるが、なぜ西小学校の児童だけが、意見を表明する</p>	<p>西小学校につきましては、平成26年12月の説明会において最初の見直し提案が出される直前まで、当初の計画に基づき改築とする予定でした。</p> <p>しかし、文部科学省から学校の耐震改修について早期の対応を求められたこと、資材費の高騰などにより、改築費用が当初の予定をはるかに上回る見込みとなったことなどから、改築は困難との結論に至りました。</p> <p>検討委員会の委員につきましては、当該校のPTA役員などに入っていた場合、どのような結論が出ても当人への負担が大きくなるものと考え、市PTA連合から選出をいただきました。</p> <p>他の委員につきましても学識経験者、教育関係者として各団体等の代表にあたっていただいております。</p> <p>子どもたちについては、保護者の方から「(統廃合が)決定する前から子どもの耳に入ると、動揺し不安が広がるので、配慮していただきたい。」とのご意見も頂いて</p>

<p>機会が与えられなかったのか、また「級友と一緒に卒業する権利」の侵害ではないかと個人的に考えるし、級友と離ればなれになってしまう児童の教育的観点からのメリットとはなにか。</p> <p>(計画書(案)7ページの(2))</p> <p>西小学校が廃校しても災害避難場所の指定は継続されるとの説明であったが、廃校後も校舎内、グラウンド等整備し続けるのか？いつ起こるか分からない災害に対応するためには廃校後も「立入禁止」等の処置ではなく、何時でも住民を受け入れられるように整備する必要があると考えるがどうか、また巨大地震発生時に西地区(線路から西地区)には避難施設がなくなるが、具体的にどこへ避難するのか示してほしい。</p> <p>士別南小学校について、昭和54年建築であるが、耐震化が図られているとはいえ、今後20年、30年間校舎として使用出来るのだろうか疑問。</p> <p>西小学校の説明会にほとんど出席していたが、毎回中身が変わらず、出席者からの意見についても拾い上げる意見と無視する意見と明らかにあった。その説明会が有効な物だとすると、出席者の中では廃校反対意見が多数を占めていたと考えるが、教育委員会としてはどの説明会のどの段階で保護者や地域住民の理解を得られたと考えているのか。</p>	<p>いたことから、聞き取りなどは行いませんでした。また、これまでに統廃合した学校についても、子どもたちから事前に意見を聴取した経過はありません。</p> <p>教育的観点からのメリットにつきましては、児童数が増えることにより、多くの人とのふれあいによるコミュニケーション能力の強化や、クラブ活動における団体競技などの選択肢の増加などがあります。</p> <p>学校施設の維持管理に関しては公共施設マネジメント基本計画との整合性を図りながら、今後の運用について検討してまいります。</p> <p>避難所指定の考えについては、想定される災害の種類に応じて避難所を設定しています。現状市街西地区には耐震化された公共施設が少なく、今後は駅周辺の公共施設のほか、自治会館、民間施設なども含めて、避難所のあり方について検討し、災害への備えを進めて参ります。</p> <p>士別南小学校につきましては、本市の子どもの推移を見守りながら、市全体の小学校配置のあり方と併せて検討します。</p> <p>説明会につきましては、ご意見にありませんとおりの出席者があまりいない状況での開催となっておりますが、説明会の終了後、保護者への文書送付、学校区域内への回覧板等により、話された内容について随時周知を行っております。</p> <p>そのうえで、28年10月12日に保護者、校区住民の方を対象に適正配置計画の見直し案についての説明会を開催し、今回のパブリックコメント結果を受け、内容についてのご理解を得られたものと考えます。</p>
--	--